

白里地区の枝川用水路の悪臭については 関係課が一体となって総合的に対応

市民の会 一色 忠彦 議員

1 枝川用水路等について
問 公約である「排水処理の整備推進」に枝川用水路も含まれるのか。
市長 排水処理の対象地域である。枝川用水路のある市道に埋設されている汚水用の下水管に接続しているのは、南・北今泉の対象世帯の約半数の95世帯に過ぎない。結果的に単独浄化槽の世帯は家庭雑排水を垂れ流しているために悪臭が発生している。沿道の住民は「ここは地の果て」と言っているが、地元在住の市長としてどう感じるか。また、市長の自宅は下水に接続しているのか。
市長 議員にとっては雲の上から見た地の底かと思うし、縁もゆかりもない地に、そこまでご心配を頂き、大変有難く思っている。次期4年間でしっかりと対応して行きたい。私の自宅は、見れば当然分かるはず。

は、沿道の生活環境を悪化させていると認識している。地元と協議し、建設課や下水道課、産業振興課の関係課と共に、悪臭に有効な対策について、連携して取り組んで行きたい。
2 「圏央道スマートインターチェンジ設置による活性化調査・検討業務の調査結果」について
問 道の駅の予算約1千3百万円が昨年度から繰り越されたまま何もしていないような気がする。また、この報告書では海岸地域は観光拠点として位置づけられているが道の駅との関係はどうなるのか。
企画政策課長 本報告書では、白里地域全体を観光地域として規定しているが、道の駅の検討はしていない。
問 スマートインターチェンジ側に農水産物販売所という道の駅的なものを作ることも含めたこの整備計画は、財源に関しては、社会資本整備総合交付金の予算確保と重点配備に付いて国に要望活動をしたと市長の事務報告にもあったので、積極的に推進して行きたいのだから。だとすれば、繰り越されている「道の駅」予算も執行されないようだし、白里地区の「道の駅」は一旦白紙に戻すということか。

問 本市にとって海岸地域は観光振興のための貴重な資源であるから、この問題を取り上げている。また、単に排水の観点だけではなく、生活環境や観光振興といった観点からも総合的に対応すべきだと思いが如何。
市長 関係各課しっかりと連携をとって進めて行く所存である。
産業振興課長 観光振興上、景観の向上や環境の改善は重要な課題だ。用水路の汚水対策や悪臭対策については、市全体として取り組んで行く。地域づくり課長 枝川用水路の悪臭

問 その後何か進展があったのか。
議会事務局長 同会への交付金について6月定例会で質問されたことを会長へ報告した。その後、役員会等を開催し、解散する方向となった。



枝川をきれいに

「元気な大網白里」をめざして

北田 宏彦 議員

問 白里海岸の観光振興について
本市の貴重な歴史的観光資源である白里海岸を守り、利活用の転換により市の未来を切り開くことが求められている。
26年度、白里海岸の入込状況は約10万8千人で前年比9・2%減少している。
レジャーが多様化し、海水浴客の減少傾向が続く中、海水浴頼みでは浜辺の活性化は図れないと判断した千葉県は、「脱・海水浴場依存」を図るための海岸、砂浜の活用策について検討を始めている。
本市も「脱・海水浴依存」モデル事業に取り組んでは如何か？
答 県が取り組むモデル事業の内容を注視し、海岸、砂浜の新たな利活用策について調査研究したい。

問 海岸浸食対策について
九十九里浜の海岸浸食が深刻化しており、白里海岸の砂浜も年々減少している。市ではどのような対応を図っているのか？
答 青少年相談員などを交えた懇談会を開催していく。
問 「地域支援者制度」に取組んで如何か？
答 外部人材の活用について研究する。
問 「いじめ問題対策連絡協議会」を設置して如何か？
答 関係機関と連携した組織づくりについて研究したい。



浸食が進む白里海岸

問 津波対策事業について
県は、津波被害を軽減させる堤防工事等を計画しているが、九十九里有料道路の嵩上げの進捗状況について伺いたい。
答 県では、基本設計がまとまり次第、地元説明会を開催、協議をし、工事に必要な実施設計を進めていく。
問 地方創生について
「主役は市町村、地方に知恵がある、やる気のある自治体を国が支援していく」としており、自立性が強調され、創意工夫による企画立案能力が試されるが、本市は如何に対応するのか？
答 庁内プロジェクトチームの検討と連携して、本市の将来を見据えた施策の検討を進めていく。
問 「いじめ防止対策」について
本市は「いじめ防止基本方針」を策定したが、教育委員会は、地域社会などとの連携をどのように図っているのか？
答 青少年相談員などを交えた懇談会を開催していく。
問 「地域支援者制度」に取組んで如何か？
答 外部人材の活用について研究する。
問 「いじめ問題対策連絡協議会」を設置して如何か？
答 関係機関と連携した組織づくりについて研究したい。

健やかな街づくりを目指して

山田 繁子 議員

問 今ある資源を活用した、健康で笑顔行き交う住み続けたい街づくりを目指して。
大網バイパスから堂右橋までの南白亀川河川敷の有効利用と堂右橋から大網アリーナまでの市道を活用した、散策コース、ランニングコース等の整備による環境作りについて、市民の健康増進と市民のふれあいの場としての活用は如何か？
答 現在、南白亀川の河川敷の堤防は県が管理している。散策コースやランニングコース等に活用するには一部未舗装部分があるので、まずは県に要望して参りたい。またアリーナから河川敷の堤防に至る市道の部分についても、一部未舗装の部分がある。まず堤防の未舗装部分の舗装を県に要望し、その環境が整いましたら関係機関と協議を行って参りたい。

問 高齢者対策について、敬老会事業も現在の五支部体制になって12年目に、敬老会の運営の持ち方も新たな検討課題ではないかとの声が聞かれますが、今後どのように考えて行くのか？
答 社会福祉協議会五支部連絡協議会の中で、この度の意見や提案等も含め協議して参ります。産後ケア体制の支援について。出産により、女性の心身には大きな負担が生じます。特に出産直後から一ヶ月間は、身体的な負担に加えて急激なホルモンバランスの変化で精神的に不安定になる傾向が強く、十分な栄養とサポートが必要です。近年、晩婚、晩産による女性の出産年齢が高齢化の為、十分な手助けが得られない事が考えられる等で不安を抱えたまま母親として育児がスタートするケースが多くなっています。良好な



南白亀川の管理用道路の有効活用を！

母子の愛着形成を促進する上で、出産直後の一ヶ月間は最も大事な時期であると言われておりますが、本市の取り組み状況を伺い、新たな事業を検討していくよう要望します。
答 産後につきましても、生後4ヶ月まで保健師による赤ちゃん全戸訪問を実施している。
問 女性会議の今後の取り組みについて。
答 女性目線で街づくりを進めていく上で女性職員についても職場を異動しつつも、やがて女性管理職の方も増えていく事と思っております。
女性会議のメンバーとの意見交換の場作りが今後市の活性化に大きくつながるものと思っておりますが、市長 庁内において連携検討組織であります男女共同参画計画策定委員会を設置しました。今後この男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、計画の策定の過程から女性会議をはじめ、市民の方々のご意見を伺いながら進めて参りたいと考えております。
今後、女性の力を発揮していただく中でしっかりと街づくりを進めて参りたい。
その他、津波対策について質問しました。